



議会だより

2012

No. 87

題字は南端小4年 ^{くまい}熊井 ^{はる}稜 くんです

平成24年2月2日(年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135



元気よくスタート!(新春健康マラソン大会)

目次

12月定例会

- 総額4億8771万円補正
予算委員会・議会改革調査特別委員会・臨時議会 2
- 総議案7件、請願4件審議
総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会 4
- 6人が登壇、町政全般を質す
一般質問 6
- 先進地に学ぶ
行政視察研修 12
- 町民の声 14



議員が編集した
手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

12月 定例会

平成23年第4回定例会は、12月6日から20日まで15日間の会期で開催され、議案14件、請願3件、諮問2件、同意1件を審議しました。全議案とも慎重に審議し可決しました。

予算委員会

一般会計補正予算と特別会計補正予算、水道事業会計補正予算の7会計を3日間にわたり、各会計および項目ごとに慎重審査を行いました。



国道10号線早期拡幅

23年度一般会計補正予算

主な歳出

地デジ対策

地上デジタル放送の難視聴地域である赤松沿津地区12軒に対し、解消のため電波塔を設置
1867万円

R10号拡幅

国道10号線拡幅に伴うため造成事業に係る物件移転と竹林伐採委託費
483万円

災害時に3者連携支援

既存の要支援者情報を、社会福祉協議会、消防組合と共有し、災害など緊急時に3者連携で支援する要支援者システム導入費
274万円

生きがいづくり活動

介護予防の拠点となる9自治区自治公民館のバリアフリー化(全額県費)
535万円

予防接種・子ども医療

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種、日本脳炎予防接種者数の上昇に伴う不足分の追加
1543万円

子ども医療費助成の医療費支払委託費の不足分を追加
638万円

イノシシ被害

イノシシ被害対策として導入した捕獲報奨金の捕獲目標を上方修正し増額補正
435万円

豊の国千年ロマン号

日出、中津、豊後高田など8市町村で構成する県北地域観光圏が取り組むワンコイン観光周遊バス「豊の国千年ロマン号」の負担金
40万円

道路改良費

赤山仁王線、二本榎弥四郎線の道路改良事業に伴う公有財産購入費、工事請負費を増額、新規に原山東西線の道路改良費を計上
1769万円

台風15号被害

自然郷18号線、楠線の台風・豪雨被害の災害復旧
750万円

町営住宅修繕

仁王住宅のガス管修繕とガスメーター取替え
177万円

震災被災消防団員

東日本大震災で被災した消防団員の公務災害補償費の増加に伴う共済掛金の追加
730万円

学校管理費

AED大人用パッド交換、遊具、ガードレールなど修繕費
374万円

教育振興費

日出中・大神中の全九州卓球選手権大会出場費補助
33万円

一般会計補正予算 1億9933万円(前年度同期比率3.1%増)
 特別会計補正予算 2億8837万円

特別会計補正予算額

	補正額	補正後予算総額 (前年同期比率)
国民健康保険	2億2341万円	31億8634万円 (9.5%増)
介護保険	6335万円	22億6701万円 (3.9%増)
後期高齢者医療	38万円	2億5346万円 (7.2%減)
農業集落排水事業	123万円	4404万円 (22.1%増)

主な歳入

町税

法人町民税が減額、固定資産税、軽自動車税、たばこ税が増額補正

1950万円増

地方交付税

普通交付税の交付決定に基づく増額補正

2億2635万円増

国・県支出金

事業費の増減に伴う補正

5275万円増

財産収入

楠住宅や日出団地、辻間団地などの土地売却収入

4196万円増

繰入金

財政調整基金繰入金の減額で財源調整

1億6301万円減

臨時議会

11月22日、議案1件、発意1件を審議するため、臨時議会が開催されました。

陥没事故対応

町道堀南浜線の陥没事故の早期復旧のため、7000万円を予備費に計上し、工事費など復旧経費に充当します。

産業廃棄物処理施設

水道水源保護区域に建設が予定されている産廃施設の建設反対の意見書を県に提出します。

議会改革調査特別委員会

12月15日、新メンバーで2回目となる委員会を開催。



堀南浜線陥没事故



新体制のもとで

今後の方針を協議

以前提出された全議員の改革アンケートと他市町村の動向を検証し、新メンバー提出の新たな改革項目を加え、今後検討を行っていきます。また、県内の市・町で改革に取り組む先進議会に調査研究のため、視察研修に行きます。

常任委員会

総務

議案の審査結果

平成24年度分の固定資産税の納期の特例

24年度が基準年度で固定資産税の評価替えの年にあたるため、24年度に限り、第1期分の納期を変更するものです。

日出町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い改正するもので、罰則規定の厳罰化に伴い、入湯税の特別徴収義務者に係る帳簿記載の義務違反などに対する罰則規定の改正を行うものです。

職員の給与に関する条例

人事院は、国家公務員の給与は官民給与の格差を解消するため月例給の0・23%を引き下げる勧告を行っており、これに基づいて給料表の改定を行うものです。

日出町災害弔慰金の支給などに関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給などに関する法律の改正に伴い、災害弔慰金を支給する遺族の範囲を変更するものです。
・以上全会一致で可決しました。

現地視察

防災無線

防災無線を設置している太田公園と日出漁港に現地視察に行き、日出漁港では実際に音を聞いて



太田公園の防災無線

産業建設

議案の審査結果

みましたが、周囲の騒音や無線の位置から遠すぎて聞こえにくいいため、緊急時避難のための役をなしているのか疑問であると指摘しました。無線の増設の計画があることの説明があり、その他の対策として音の調整と赤色灯をつけてはどうかと要望しました。

町道の廃止、認定

日出バイパス並びに高



西嶋精舎（帆足萬里先生の私塾跡）

現地視察

観光資源の現地視察

速道路側道部分の管理を県から町に移すものです。現地視察を実施し、通路は事故や草刈などの管理に十分配慮するよう要望しました。

工事委託に関する協定変更

下水道浄化センターの建設工事委託を減額するものです。
・以上2議案を全会一致で可決しました。

西嶋精舎入口の道路拡幅は、教育委員会と担当課で協議をし、碑の建立地が民有地となっているため、早急に整理するよう指摘しました。

社会厚生

所管事務調査

産業廃棄物処理施設設置計画

建設が予定されている区域は水資源保護区域であるため、水道水源保護審議会で審議され、処理場の建設は適切でないとの諮問結果が出されました。

委員会としても全員反対であり、県への意見書の提出や法的な対応の検討も考え、全員協議会で対応することになりました。

※12月27日に事業者は設置許可の県への申し入れを取り下げました。

民生委員の確保

高齢化が進む中、任期満了になって後任の確保が難しく、作業負担軽減や手当の見直しの検討を指示しました。

介護保険料

保険料の改定の時期になり、給付費を抑えるため、今後の老健施設や通所介護事業所の設置を考慮すべきではとの意見が出ました。なお、保険料は県下で5番目の高さにあります。

町立幼稚園の就園状況

就園状況は57・5%と低く、今後少子化に伴いますます就園率は下がると予想され、幼稚園の統廃合に発展しかねず早急な対応を要請しました。

現地視察

学校給食共同調理場

給食共同調理場整備計画検討委員会の初会合が開かれます。委員から視察に行った狭山市の給食センターを参考にしてPFI方式で近隣との共同運営を考えてはとの意見。また、パン食は1社のみで製造しており、企業努力でより良質なものと、学校給食会に具申す



給食センターで本日の給食を試食をしました

るようにしました。

11月21日 中学校の巡視

・南端小中学校においては壁面修理とプールの塩素調整循環機、避難シートの改修の要望をうけました。

来年度地元の子どもが一人もいなくなり、廃校などの問題も懸念され、地域住民や在校生の保護者の方と今後の対応や方向性を協議するように確認しました。

・大神中学校の緞帳の修

請願審査

地方財政の充実強化

再度、精査が必要ではないかとの結論にいたり、継続審査といたしました。

郵政改革法案の早期成立

国民にとってより良いサービスが提供できる郵便局ネットワークを維持・継続するため郵政改革法案を十分審議し、速やかに成立させるための請願で採択しました。

免税措置

漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書提出を求める請願で採択しました。

救済

「国の責任」で「すべての肝炎患者を救済する」ことを責務とした「肝炎対策基本法」にもとづいて救済を図り、また「救済特措法」での救済枠を広げる請願で採択を

しました。

常任委員会

一般質問

Q&A ここが知りたい

**緊急雇用創出事業の
の今後は？**



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問

答

**必要な事業は単費で
続けていきたい**

問
国の100%出資の当
事業は今年度で終了しま
すが、継続が必要な事業
は。

商工観光課長
各課からの希望で10事
業あります。

問
その財源と優先順位は。
商工観光課長

未定ですが、県の補助
が期待できる事業もあり、
一般財源と合わせて財政

問
課と相談していきます。

最も目につく町道、公
園の草刈りは。

町長
必要な事業は積極的に
予算化しますが、最終判
断は私が出します。

須崎新田線の延長

問

都市計画街路で未完成
が3路線、未着工が4路
線、それらの完成年度は。
また、優先して着工する
のは。

都市建設課長
7路線の総延長は約9
kmで、完成年度は想定し
ていません。現在藤原か
ら日出駅裏までの友田竹
光線を検討しています。

問
須崎新田線の辻間団地
から「通り山」の区間を
延長する予定は。

都市建設課長
団地西側の長野線から
山田線の520mの調査、
測量をしています。

問

豊岡地区は東西の生活
道路がありません。活性
化のためにも法花寺線ま
での完成を。

都市建設課長
山田線から法花寺線ま
で480mで、道路の規
格を含めて検討してい
ます。

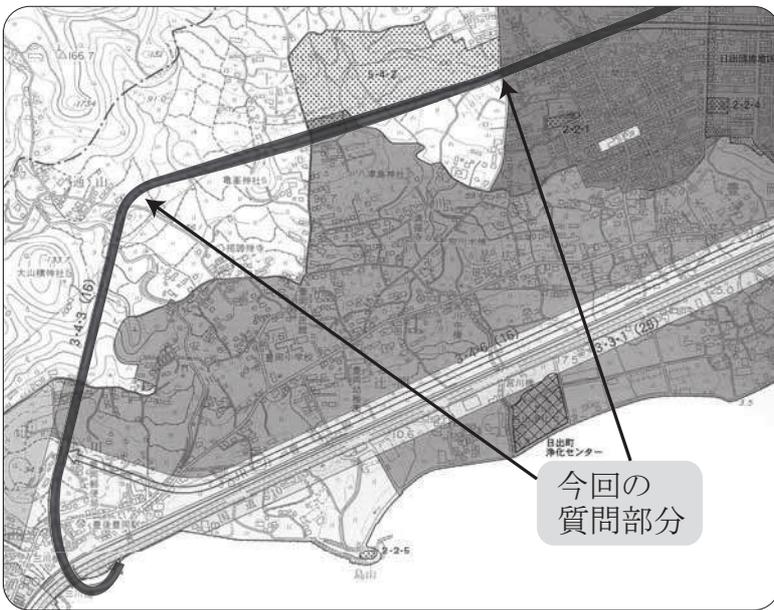
町長
町政の振興のためにも
重点事項として努力しま
す。

観光事業の 最終目的は

問

観光客に消費行動を伴
う経済的効果を期待して
いますか。

町長
町の素晴らしい歴史的
文化地域、自然資源を多
くの人に経験してもらう
ことが、町の評価につな
がると考えます。



豊岡地区の生活道路を早急に

質問を終えて

ムダな予算と住民が
熱望する事業との仕分
を

また、観光の消費動態
で22年度は前年度から25
%アップしています。外
から来る人に、非日常と
して憩いやふれあいを味
わってもらいたい。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 県外の土砂の搬入をさせるな

答 町の権限だけでは難しい

問

県外からの土砂を日出と杵築の二つの業者が大神地区に多く埋め立てをしています。

県からどういふ漁港使用許可が出ていますか。

生活環境課長

大分県港湾施設管理条例により別府土木事務所が使用許可しています。

問

土砂荷揚げの際に海に土砂が流れ込んだりホッ



荷揚げされた県外土

パーを洗うために海水が濁る、船のスクリーンによつて藻が切れ網にまかなるなど漁業に被害が起きないかと心配しています。県に意見を。

生活環境課長

県の方にきつく嚴重に指導をしていただいています。

問

県から土砂の採取元証明書、適格証明書をもらっていますか。

生活環境課長

申請書には証明書は付

いていませんが県が安全を確認しているとのことです。

問

土砂は船一隻ずつ安全検査を県に対して要求してください。町も土砂の安全検査を。

生活環境課長

若干問題もありそうなので別府土木事務所に話を聞きたいと思つています。町では途中で土壌検査をするような手配をしていますが一隻一度ということは考えていません。

町長

土の調査は検討します。

問

町の土砂条例を改正し、土砂は県内土に限ると入れたらどうですか。

町長

かなり難しいのではないかと思います。

職員給与を減額するな

問

政府は7%、8%の国家公務員の給与を減額しようとしています。最近では市町村職員の給与の減額を検討されていると言われていますが、減額された時町の予算はどれくらい減額されますか。

総務課長

1億200万円程度です。

問

国から来る交付金はどれくらい減額されますか。

財政課長

1億1149万8千円の減額です。

問

職員の住民税、所得税はどれくらい減りますか。

総務課長

3百万程減収が見込まれます。

問

購買力はどれくらい落ちますか。

総務課長

職員一人当りの年収が30万円減額となり年間5千万円程度購買力が落ちると思われま

問

答弁であつたように職員給与を減額しても町の財政は良くなりません。もし国から減額の要求が来たら町長は国に従いますか。

町長

今のところ白紙ということでご理解ください。

•その他「TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に反対を」「国民健康保険税の引き下げを」に関する質問がありました。

一般質問

Q&A ここが知りたい



藤井 博幸 議員
(日出地区)

問 ホームページを
使いやすく

答 日々
努力しています

問 広報の一つであり、町の全てが、全世界に発信されていて閲覧できます。記事は正確でなければなりません。その管理は、

政策推進課長 システムの管理は財政課の電算係、記事と構成は政策推進課が行い、内容は各課で策定し、更新も責任を持って行っています。

問 誤記を発見した場合、訂正を速やかに。また、記事を分かりやすくということで「みんなのページ」は、字が大変見づらいです。

政策推進課長 町の情報量をたくさんにしたことで字が小さくなっています。情報が多くてもいかに見やすくするかが今後の課題と思っています。

問 アクセス件数とどの記



ホームページ（使い勝手が悪いのでは…）

問 事を見えていますか。

政策推進課長 平均して多いのはイベント、観光案内です。月平均1万1千件で、かれい祭りなどでは2・5倍ほどの検索があります。

問 観光案内での観光地と施設、地図の連動がなさ

政策推進課長 観光のPRは内容の充実を含め担当課と取り組んでいくとともにイベントは各課に早めの記載をお願いしていきます。

町長 中身と内容が正確である必要があります、職員に公用文の手引きを取り寄せ、字句の確認をさせ、編集の手引きを使用しています。今まで無関心というか楽観的な面で地名などを自由に使っていました。が、正確な表現、字を

使うことが必要と思っています。職員が編集技術、技量、見識、知識を身につければ全体的に良くなると思います。

防災マップ見直し

問 震災以降の変更点と経費は。

総務課長 21年に防災マップを各戸配布していますが、震災を受け、主に津波被害の想定を変更する必要があります。今、防災マップは2・65mを想定しており、県はこれを3倍に見直せということです。また国では現在細部を詰め24年には推計結果が報告される段取りになっています。作成には21年度の約450万円と同等かそれ以上と考えられます。

質問を終えて

費用対効果の考えと記事の校正は迅速に。

一般質問

Q&A ここが知りたい

日出駅周辺に町営駐車場を

問



工藤 健次 議員
(大神地区)

最大限の配慮を行います

答

問 日出駅周辺には、民間の駐車場もなく、駅を利用したい人は大変不便を感じていますが、駅周辺に町営駐車場を造る考えは。

都市建設課長

日出駅は、JRの施設として北側に25台分、駅前広場に15台分の駐車スペースが設けられています。住宅団地の多い川崎地区から、大神に至るまで日

出駅を利用される予想人口からすると、非常に少ない状態にあると思います。陽谷駅の工事が始まれば混雑も予想され、代替的な措置ができないか検討し、最大限の配慮を行います。

日出駅前交差点の改良を

問

この交差点は、変則になつており特に雨天時の朝は送迎、コンビニから出る車など、混雑がひどく危険な状態になっています。

本年1月から10月までの交通事故状況を調査したところ、産業通り交差点から万願寺橋までの間で、20件の事故（人身6件・物損14件）が発生しています。駅前交差点では2件・コンビニ前で4件の交通事故発生があり、交差点の改良を県とJRなどの関係機関に強く要望していただきたい。

都市建設課長

日出駅前交差点は、詳細調査に入り十分認識をしました。問題解決に向けて県・JR・民間の土地も関わるので、関係機関に現状把握を行うよう強く働きかけをいたします。

町長

人命や安全に関わることであり最優先したい。



改良が望まれる日出駅前

少子化対策

問

出生率を上げる対策や町独自の取り組みは。

政策推進課長

少子化対策は、重要な課題であり、長期的な展望に立ち、少子化の原因を解消することで、晩婚化、未婚化などの結婚先送り現象を防ぐ対策が必要だと思えます。

福祉対策課長

町の単独費用で、妊娠中よりお母さんをサポートし、赤ちゃん誕生前に小児科による保健指導を受け、育児不安を解消する育児等保健指導事業や、不妊治療の医療費助成・新生児誕生祝い金を支給しています。

今後とも家庭や地域、学校などと連携、協働し、より一層子育て支援を充実させ、安心して子どもを生み、子育てしやすい環境づくりに取り組み、出生率を向上させていきます。

質問を終えて

住民ニーズを把握して早急な取り組みを。

一般質問

Q&A ここが知りたい

地域一体となった 学習支援を

内容の充実などを 検討していきます



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問

答

問 子どもの学力向上を目的として、放課後や休日に小学校の余裕教室や公民館を利用し、小中学生を対象に希望者誰でも参加できる『学びの教室推進事業』という県の事業があります。町での今後の計画はないですか。

生涯学習課長

町には、本年度できた藤原小学校の中での『放課後児童クラブ』と文科

省所管の『放課後子ども教室』と2つあり、『放課後子ども教室』は豊岡地区公民館で行っています。これは子どもの放課後の安心・安全の確保、居場所づくりを目的として16年から開始され、学びの教室も本年度からスタートさせました。現行ではドリルなどによる自主学習が中心で、教職員のOBの方にサポートしてもらっています。まだ不十分だと思っています。

す。今後、関係各課と協議しながら、内容の充実などを検討していきたいと思っています。

問

豊岡地区では不十分ながらやっているというところですが、町内でできる地区とできない地区があるのはなぜですか。

教育長

この教室は区長さんや地域の多くの方々の支援があつてできています。必要性は十分認識してい



お手前をどうぞ 冬休み子ども教室（中央公民館にて）

ますので、教員OBの方々や現職の校長先生、教育委員会の関係者で合同会議を持つて、早期に立ち上げることができないかという協議を始めました。場所、指導者、時間、経費の問題を、今後協議をして、できるだけ早い時期に各地区ごとに立ち上げるつもりで検討します。

問

低所得世帯への 学習支援

『社会的な居場所づくり』という国の補助事業があります。これは、生活保護受給者が、就労体験やボランティア参加などを通じて社会的自立を図ることを目的としています。また、高校受験のための学習支援教室の開催なども含まれています。この学習支援の事業に取り組む計画はありませんか。

福祉対策課長

町内生活保護世帯の高校生に該当する16名全員が現在高校に進学

しているのですが、今のところ特に考えていません。

問

全額国の補助を使わない手はないと思いますが。

福祉対策課長

生活保護だけに絞らず、誰でも行つて勉強できるように教室がまず拡充していけばと思います。

町長

国や県の有利な制度は積極的に活用すべし。これは私の基本的な態度です。制度をできるだけ多く探し出して活用し、教育や文化の向上を図ることが大事だと思います。

質問を終えて

経済的理由による教育の格差を作るな。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 予算枠配分方式は機能しているか

答 来年度は査定方式に変更していきます



森 昭人 議員
(日出地区)

問

重点課題が山積する中、24年度予算は、町長2期目の仕上げともいえますが、その編成方針は。

町長

第4次総合計画の後期基本計画の推進、第2次行財政改革プランを徹底し、住民の目線に沿い、町が新たな飛躍につながるよう優先順位を明確にしながら、十分に各事業を精査し行っています。

また、中長期的な視野に立ち現在の課題をはつきりと捉え、積極的な予算編成を考えています。

問

各課に配分される一般財源と各課に属する特定財源の範囲内で経費と見積もる枠配分方式による予算編成は機能していますか。

財政課長

危機的な財政状況では、真に必要な事業や新たな事業を実施するため、配分された予算のなかでスクラップ・アンド・ビルドを行ってきました。しかし、近年、財政状況がある程度好転したことにより、枠にとらわれず自由な発想で思い切った予算編成を促す意味で枠配分方式を廃止し、査定方式に変更します。

政策推進課の責務は

問

政策推進課は重要施策の総合調整を行うとなっていますが、明確な立場

と権限を持つて予算編成に関わるべき。また、人口3万人に向けた新たな取り組みを、自ら発信することが政策推進課に課せられた責務であると考えますが。

問

現在、町政の大きな指針である総合計画の実施計画を作成していますが、あわせて当初予算に関わるといふ問題も財政課とともに体制を作ろうとしている最中です。これからもまちづくりでいろいろな案をもって努力していきたいと考えています。

政策推進課長

部活動遠征費、副教材費補助

問

一般質問を次年度予算に反映するため、再度伺います。9月定例会で提案した中学校部活動の遠征費、副教材費の補助について、今後の対応は。

教育長

その後、学校関係者と補助内容を検討しました。それに基づき保護者負担



問われる 実行性

軽減という視点を持ち、来年度当初予算に増額計上し、財政局と協議していきたいと考えています。

• その他「健康づくり推進条例」「災害相互応援協定・災害対策基本条例の設置」に関する質問がありました。

質問を終えて

24年度予算は、人口3万人を目指した新たな展開を期待します。

行政視察

社会厚生 常任委員会

23年10月19日～21日
実施。

埼玉県狭山市 入間川給食センター

日出町の学校給食センターは築後27年を経過し、老朽化が進み、建て替えが検討されています。

厳しい財政状況でどういった方法が適切かを検討する一助として、PFI方式を導入して成功している狭山市に学んだ。
※PFI方式とは。

本来官が行う事業を民間の活力（資金、人材、ノウハウ）などを導入することによって効率を計ること。

- PFIのメリット
- 初期投資が大きく削減されるなど、経済的に良質なサービスの提供
- リスクの分散化
- 行政の意識改革と管理業務の軽減
- PFIのデメリット
- 契約までの事務量が煩雑

- 議会や市民への対応（保護者への説明会だけで37回開催）

研修を終えて

施設は衛生管理、作業の効率化という点で、私達の概念を打ち破る斬新な構造でした。特に作業場は調理部門と洗浄部門に分かれ、設置器具の先進性、作業工程が動線化されている点など目をみはるものがありました。また、作業員も若い男性が多く、そのきびきびし



入間川給食センター（最新鋭の洗浄機）

た動作に民間の利点を感じました。

日出町にこの方式が適切なかは、スケールメリットの面で行政と企業側にも不安があると思われるが、今後の建て替え論議の中では、大いに参考になる施設なので、建設委員会、教育長などには是非とも見学をお願いし、選定の候補としていただきたい。

埼玉県小鹿野町

年々増加していく医療費などを軽減していく方策を探るため、医療費の低さで有名な当町を研修先としました。

研修を終えて

保健師を8名採用し、積極的に対策を行っています。健康、栄養教室の開催、高齢者訪問や健康座談会を行っています。また、町立病院に保健センターを併設し、医療と町の保健福祉が緊密に連携しています。

人口1万3千人の小さな町が町ぐるみで健康長寿に努力している点に感銘を受けました。

参加者

委員長	白水	昭義
副委員長	藤井	博幸
委員	佐藤	克幸
委員	熊谷	健作
委員	後藤	佑
健康増進課長	河野	王見

産業建設 常任委員会

23年11月16日～18日
実施。

愛媛県内子町

松山市から40kmの地点にあり、人口約1万9千人。豊かな自然の中で、町内各地の特色ある地域文化を大切にしながら、小規模であっても生き生きと輝く町を目指しています。

内子町の農業も過疎化・高齢化による農業就業人口の大幅な減少、担い手不足や耕作放棄地の増加、有害鳥獣による農産物被害も急増しています。そのため、新規就農者対策や地域で生産された農産物を地域で消費する地産地消に取り組み農業振興に努めています。
農産物直販所「内子フレッシユパークからり」は、地域住民との合意形成で農家が運営し、経営に地域住民が関心を持ち

行政視察



力を入れている加工品開発

経営を支えています。
農産物の加工品開発にも力を入れており、松山市から近いこともあって多くの買い物客で賑わっています。

高知県梼原町

人口約4千人で、清流四万十川の源流域にあり、「平成21年環境モデル都市」に選定されています。町の「共生と循環の思想」と「絆」を基本理念として第一次産業の振興

に取り組んでいます。過疎化が進む中、町の税収が3億弱の時に2億2千万円をかけて風力発電に取り組み、町民意識の大変革を図ったことが成功し、風力発電による売電益で各種の助成措置を行っています。

全国に類をみない太陽光発電の普及率や、森林整備従事者の雇用の確保や町の活性化などに繋がっています。

また小水力発電所を設置し、昼間は中学校に夜

間は地域の街灯に電力の供給を行っており、再生可能エネルギーが注目される中、震災後は視察研修が急増しています。

研修を終えて

内子町・梼原町とも、過疎化などの多くの問題を抱えています。それぞれ特色ある町づくり・取り組みを行っており、農家・行政・企業が連携し、環境に配慮した循環型の農業や町づくりが大切であると強く感じさせられました。

町の抱える農林業や町づくりの課題解決に向けて大いに参考となる研修となりました。

参加者

委員長	安部 三郎
副委員長	工藤 健次
委員	笠置 久夫
委員	佐藤 隆信
委員	森 昭人
農林水産課長	村井 栄一

第75回全国町村議会広報研修会

「ひじ議会だより」添削指導を受ける

日時

23年10月24～25日

研修先

東京都千代田区砂防会館にて実施。

研修目的

より良い行政を実現するための議会だよりの発行
10月25日
「伝わる・揺さぶる！文章を書く」

「広報誌におけるレイアウトの基本」
「広報誌における写真」
10月25日
「議会広報クリニック」

善していききたいと考えます。

今後、内容の充実はもちろんですが、町民の方々が手に取り、興味を持って読んでもらえるよう、編集委員全員で努力していきたいと思えます。

参加者

委員長	森 昭人
副委員長	池田 淳子
委員	熊谷 健作
委員	田原 忠一
委員	工藤 健次
委員	藤井 博幸

研修を終えて

今回の研修会では、議会だより第84号を事前に提出し、2日目の研修「議会広報クリニック」で添削指導を受けました。表現やレイアウトなど詳細にわたり指摘され、特に注意を促された文字数、行数の多さは、今後の大きな課題と受け止め、改



町民の声

公民館活動を通して 見えたもの

大神地区 青木 一



「今年の漢字」に「絆」が選ばれた未曾有の大災害に見舞われた年が暮れ、言葉では尽くせない不幸と悲しみの真つただ中にいる人たちの心を、少しでも早く癒していくための本格的な復興に立ち向かうべき年が明けました。私たちは、このことを常に意識しながら生活していかなければならないと思います。

その意識の一つに、「もし、自分が同じような立場になったとき、どのように行動するのであるか」という事があります。家族、友人、社員、同業者同志で、そして地域ぐるみで、涙を押し殺しながら、希望を振り絞って、力を合わせて復興の夢に立ち向かっている被災者の方々の姿が報道されております。自分達にそれと同じようなことができるのであるうかと大きな不安に駆られてしまいますが、強く生き続けようとする姿の中に、「その原動力は人と人との愛であり、信頼であり、そしてそれは1日にして成ったものではない」ということを発見して、自分達にも何とかすることができるとはならないだろうかとの「光明」を見たような気がするのです。

私事、大神地区公民館のお世話役として2年が経とうとしておりますが、日出町の公民館活動は県下でも活発な方であろうと思っ

ております。皆さんご承知のとおり、多くの体育行事、文化行事が目白押しに展開されていきますが、これらは、それぞれの自治公民館のお世話人の方々と、日出町教育委員会のスタッフの皆さんが企画から準備、運営を行っていきます。みんなが真剣に話し合い、知恵を出し合い、一致協力して準備を進めて行き、本番の運営に精を出し、本番終了後はテキパキと片付けて行きます。仲間を思いやりながら、決して手を抜くことのない積極的な姿は特筆に値するものと、いつも感心させられているのですが、その行動の中に「絆」の深まりを強く感じます。「大神は大丈夫だ」と思えるのです。それが見えてきた「光明」です。私は、「もし、この毎年繰り返されていく公民館行事がなくなったらどうなるのだろうか」と考えると恐ろしくなります。「なにもしなくて楽かもしれないが、人々との交わりは無くなり、繋がりが、絆が消え失せてしまう」と思えるのです。潤いのある生活をもたらしてくれると共に、力強く生き抜いていく原動力にもなる公民館行事への、町民の皆さんの今まで以上の積極的なご参加を心からお願ひ申し上げます。

議会の今後の予定

- 2月 27日 議会運営委員会
- 3月 5日 定例会初日
- 議会運営委員会
- 7日 定例会 議案質疑・一般質問
- 8日～9日 常任委員会(予算)
- 12日～14日 常任委員会(予算)
- 15日～16日 常任委員会
- 19日 常任委員会(予算)
- 議会報委員会
- 議会改革調査特別委員会
- 21日 議会運営委員会
- 23日 定例会最終日

議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともかもしれません。簡単な手続きで、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

編集後記

ゲートボールを始めてから数年経つたが、練習不足という言い訳で逃げるとして、上手くならずにはチームの足手まといです。選手の人数が揃わないと参加できないので時々競技に出ますが、なかなか勝敗は時の運と言うように厳しいものがあります。

練習ではみんなが監督、常に作戦を練り、わいわい言いながら頭の体操が出来ますし、軽い動作で競技時間も1試合30分、でも最近が高齢化からか参加者が減つたように思います。

子どもから高齢者まで気軽にできるスポーツです。興味をもたれた方は是非協会へ連絡をしてください。

(藤井 博幸)

- 編集委員長 森 昭人
- 副委員長 池田 淳子
- 委員 熊谷 健作
- 委員 田原 忠一
- 委員 工藤 健次
- 委員 藤井 博幸